

平成 23 年度

裾野市「事業評価」報告書

平成 23 年 10 月 24 日

裾野市行政改革推進委員会

目 次

1 . 事業評価結果	高齢者福祉サービス	P 1
	敬老会事業	P 4
	すそのーる運行委託事業	P 5
	財) 裾野市振興公社	P 6
	裾野市赤十字病院補助事業	P 8
	TMO運営補助事業	P 1 1
	非常勤講師派遣事業	P 1 3
	小中学校給食	P 1 4
	社会福祉協議会補助金及び委託事業	P 1 6
	シルバー人材センター運営費補助事業	P 1 9
2 . 結果・総括		P 2 0

1. 裾野市事業評価結果

日 / 班名	1 日目	A 班	時間	13:40 ~ 14:30
事業番号	1 - 1		担当部署	社会福祉課
事業名	高齢者福祉サービス 生きがい対応型デイサービス事業			
事業費	平成23年度予算 5,790千円(内一般財源5,790千円)			
事業評価結果			評価人数	
区分	(1) 廃止			
	(2) 休止			
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合		
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合		2
	(5) 実施方法の変更			1
	(6) 他の事業に統合			2
	(7) 継続 現行どおり			
	(8) 継続 拡大			
【事業評価区分に係る意見】				
<p>< 縮小 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区におろすことはできないか、また対象年齢要件を引き上げてはどうか ・ 対象者の人数(16名)の割りに費用が多すぎないか ・ 同じ利用者が毎年利用していることに問題がある ・ 65歳を高齢者として位置づけることは妥当か、また週3回も実施する必要があるのか <p>< 変更 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区で実施しているふれあいサロンと統合してはどうか ・ 地区の事業と重複しており無駄 <p>< 統合 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の同じような事業と統合すべきではないか 				
【班としての全体意見】			(4)事業統合を含む小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容を見直し、集約できるものは集約する。 ・ 同じような事務の洗い出しをして、それらを統合する必要がある。 				

日 / 班名	1 日目	A 班	時間	13:40 ~ 14:30
事業番号	1 - 2		担当部署	社会福祉課
事業名	高齢者福祉サービス 在宅高齢者等食事サービス事業			
事業費	平成 23 年度予算 6,552 千円 (内一般財源 6,552 千円)			
事業評価結果			評価人数	
区 分	(1) 廃止			
	(2) 休止			
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合		
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	3	
	(5) 実施方法の変更		1	
	(6) 他の事業に統合		1	
	(7) 継続 現行どおり			
	(8) 継続 拡大			
【事業評価区分に係る意見】				
<p>< 縮小 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否確認はお金をかけてヤクルトにお願いするのではなく、郵便・新聞の配達員に無償で依頼できるのではないか <p>< 変更 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の事業との組み合わせが可能ではないか ・他の事業と重複していると思われるので他の方法を考える必要がある <p>< 統合 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の同様な事業との統合が可能 				
【班としての全体意見】			(4) 事業統合を含む小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容を見直し、集約できるものは集約する。 ・同じような事務の洗い出しをして、それらを統合する必要がある。 				

日/班名	1日目 A班	時間	13:40~14:30
事業番号	1-3	担当部署	社会福祉課
事業名	高齢者福祉サービス 老人日常生活用具給付・貸与事業		
事業費	平成23年度予算 8,368千円(内一般財源8,368千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1)廃止		
	(2)休止		
	(3)大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4)小幅な縮小	方法変更・事業統合	2
	(5)実施方法の変更		1
	(6)他の事業に統合		2
	(7)継続 現行どおり		
	(8)継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><縮小></p> <ul style="list-style-type: none"> 紙おむつ等への購入助成は対象となる認定基準を引き上げることも可能ではないか 補助の対象や基準を再考する必要がある <p><変更></p> <ul style="list-style-type: none"> 他市町と比べると裾野市はおむつの補助が多額である 対象者の選別をした方がよい <p><統合></p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険との兼ね合いを考慮すべき 介護認定の対象外となっている人への助成だが、他の事業と統合できないか 			
【班としての全体意見】		(4)事業統合を含む小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> 事業内容を見直し、集約できるものは集約する。 同じような事務の洗い出しをして、それらを統合する必要がある。 			

日 / 班名	1 日目 A 班	時間	14:40 ~ 15:30
事業番号	2	担当部署	社会福祉課
事業名	敬老会事業		
事業費	平成 23 年度予算 35,535 千円(内一般財源 35,535 千円)		
事業評価結果		評価人数	
区 分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	4
	(5) 実施方法の変更		
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		1
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p>< 縮小 > (方法検討含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算額を削れるところはある、例えば赤飯単価は落とせる ・ 祝い金・記念品の配分を見直すべきである ・ 出席者のみに配布され、不公平感のある赤飯配布は、老人クラブにご理解いただき配布を止める ・ 祝い金等の総額を抑えて現金や商品券にしてはどうか ・ 婦人会は主催者だが、負担が大きすぎる。また、区長会にも負担が大きいため実施方法を再考する必要あり ・ 配布されるヘルシーパーク利用券を、他人が使うケースが多々あり問題である ・ 毎年対象高齢者が増えており、支える世代の負担が大きすぎるのではないかと ・ 各区に高齢者人数に応じ助成金を出して、区ごとに敬老会を行ったらどうか(1人×5000円程度 各区実施なら高齢者の把握ができ、異世代交流も可能) <p>< 継続 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他市では地区ごとに行っているケースもあり、現行の方法は検討の余地あり 			
【班としての全体意見】		(4)方法変更を含む小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者に市の現状(財政状況等)や、今後の高齢化の進行により経費が右肩上がり増大していくことから、事業の縮小、方法の変更は避けられないことを、時間をかけてご理解いただく必要がある。 ・ 敬老会事業は必要と思われるが、これからはより多くの高齢者がそれぞれの持てる力を発揮し、自らが社会貢献できることを生き甲斐と感じられるような社会の構築を目指すべきである。そのためには現在の演芸中心の受動的な会のあり方など、事業内容の見直しが必要である。 			

日/班名	1日目 A班	時間	15:40~16:30
事業番号	3	担当部署	企画政策課
事業名	すそのーる運行委託事業		
事業費	平成23年度予算 40,316千円(内一般財源33,558千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	5
	(5) 実施方法の変更		
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><縮小>(方法検討含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化と生活バス路線維持の当初目的が、福祉バスの傾向になっているので、再度、目的の明確化が必要 ・路線のある地域にはメリットあるが、市民全体に対する公平性は疑問である ・公平にするには有料化をするか無料化の範囲を縮小または廃止すべき ・利便性は維持すべき ・業務委託先について、他社との競争はできないのか 			
【班としての全体意見】		(4)方法変更を含む小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の本質が理解されていないし、目的がずれてしまっている。また、市全体の事業ではないので公平性に欠ける。 ・生活路線としての維持は必要だが、有料化による公平性など、実施方法をすみやかに検討変更すべきである。 			

日/班名	1日目 B班	時間	13:40~14:30
事業番号	4-1	担当部署	健康推進課
事業名	財)裾野市振興公社 ヘルシーパーク裾野管理事業		
事業費	平成23年度予算 30,388千円(内一般財源30,388千円)		
事業評価結果			評価人数
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	3
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		2
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・入場者数を見てもっと収益性を高められるのではないか ・指定管理者の選定方法の大幅な見直しが必要である ・市の関与を縮小して民間のノウハウ等を導入すべきである ・運営について改善すべき点が多い ・経営について専門性のある職員がいないのではないか ・市は指定管理先の経営実態を把握していないのではないか ・民間委託に一番ふさわしい事業である。食堂をもっと活かした事業の展開も考えられる 			
【班としての全体意見】		(3)方法変更を含む大幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施方法の大幅な変更が必要である。 ・指定管理者が入札やコンペで決定していない、公募によらない選定自体に問題がある。 ・市は、健康増進の観点から適正入場者の設定を行うなど、施設設置の目標を明確化してもっと関与すべきである。 ・指定管理者の指定の際に、食堂も含めた施設使用など統一的な考え方を示すべきである。 ・事業の必要性は理解できるが、指定管理者が民間として工夫すれば増収が大いに期待できる。市の事業費支出は廃止すべき。 			

日/班名	1日目 B班	時間	13:40~14:30
事業番号	4-2	担当部署	生涯学習課
事業名	財)裾野市振興公社 文化センター事業		
事業費	平成23年度予算135,378千円(内一般財源134,658千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1)廃止		
	(2)休止		
	(3)大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4)小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5)実施方法の変更		5
	(6)他の事業に統合		
	(7)継続 現行どおり		
	(8)継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><実施方法の変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化事業の赤字はやむを得ない面もあるが、入場者等の経年観察は必要である ・利用者の利便性(予約期間の短縮)を向上させ、稼働率のアップを図る必要がある ・食堂その他の施設の有効活用による収益性向上を検討すべきである ・食堂自体でお客様を呼べるような店(事業者)を誘致したらどうか ・文化の発信という点では利益優先でなくてもいいが、利用者増を図るべきである。 ・専門性のある職員がいないのではないか ・市が指定管理先の経営実態を把握していないのではないか 			
【班としての全体意見】		(5)実施方法の変更	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施方法の大幅な変更が必要である。 ・指定管理者が入札やコンペで決定していない、公募によらない選定自体に問題がある。 ・指定管理者の指定の際に、食堂も含めた施設使用など統一的な考え方を示すべきである。 ・事業の必要性は理解できるが、指定管理者が民間として工夫すれば更なる改善が期待できる。 			

日/班名	1日目 B班	時間	14:40~15:30
事業番号	5-1	担当部署	健康推進課
事業名	裾野赤十字病院補助事業 救急医療への補助		
事業費	平成23年度予算 105,525千円(内一般財源54,000千円)		
事業評価結果			評価人数
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		2
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		3
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p>< 実施方法の変更 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の経営状況が見えないので、市は実態把握をすべきである ・ 補助に見合った医療の充実が必要である ・ 住民のニーズと満足度の充足を図るべきである ・ 医師、看護師の質の向上で市民の理解を得る必要がある ・ 赤十字病院自体のPRが必要 <p>< 継続現行どおりの前提 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療を担う施設の充実などのビジョンがあるべきである 			
【班としての全体意見】		(5) 実施方法の変更	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療の中心を担う市民病院としての位置づけから、今後の病院経営や施設整備などに関する明確なビジョンの作成が必要。 ・ 赤十字病院側の意見要望だけでなく、補助を行う市としても、経営状況などの実態把握を行い適切な指導・助言ができるようにすべきである。 			

日/班名	1日目 B班	時間	14:40~15:30
事業番号	5-2	担当部署	健康推進課
事業名	裾野赤十字病院補助事業 医療機器整備への補助		
事業費	平成23年度予算 20,250千円(内一般財源13,500千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		3
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		2
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器の購入をリースに変えることも検討すべきである ・機器購入に際して、市で入札を行うことも検討をすべきである ・これだけの設備があって、患者数が1日平均170名弱では少ない ・患者数を増加させる努力があまり見えない ・医療は地域から信頼されることが必要であるが、本当に信頼されているのか <p><継続></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい機器は医師と同様に必要不可欠である 			
【班としての全体意見】		(5)実施方法の変更	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の中心を担う市民病院としての位置づけから、今後の病院経営や施設整備などに関する明確なビジョンの作成が必要。 ・赤十字病院側の意見要望だけでなく、補助を行う市としても、経営状況などの実態把握を行い適切な指導・助言ができるようにすべきである。 ・機器の購入については市で購入し貸与する方式とすべきである。 			

日 / 班名	1 日目 B 班	時間	14:40 ~ 15:30
事業番号	5 - 3	担当部署	健康推進課
事業名	裾野赤十字病院補助事業 施設整備への補助		
事業費	平成23年度予算 79,400千円(内一般財源79,400千円)		
事業評価結果			評価人数
区 分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		1
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		4
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p>< 変更 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市としても経営状況等の把握は必要不可欠である ・市にとって一時的な支出抑制方策はあるはずである <p>< 継続 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に市議会で耐震工事に関する債務負担行為が承認されており、毎年8千万弱の負担はやむを得ないとする 			
【班としての全体意見】			
<p>(7) 継続 現行どおり(要見直し)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に、20年間の債務負担行為がされていること、また実際に耐震化工事は終わっていることから、今になって縮小廃止などの議論に上げることはできない。ただし、金融機関との借り入れ条件の折衝はできるのではないか。 			

日/班名	1日目 B班	時間	15:40～16:30
事業番号	6-1	担当部署	商工観光課
事業名	TMO運営補助事業 TMO運営費補助事業		
事業費	平成23年度予算 4,638千円(内一般財源4,638千円)		
事業評価結果			評価人数
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		1
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		2
	(6) 他の事業に統合		2
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p>< 休止 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガーデンシティの経営に市の関与を強化しなければならない ・ 建物移転補償による黒字を有効に活用する議論や、法人の廃止を含めた議論が必要。黒字の時に解散を検討することも一つの検討策である ・ 区画整理事業の進捗が課題となっているが、先が見えない中、裾野市の将来に対するTMOのビジョンも見えてこない <p>< 変更・検討 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の活性化の方策は別にもあるのではないか ・ この業務内容であれば補助せずに、市の担当部署に一人雇用した方が効果的かもしれない ・ 株式会社に補助金を出すこと自体に違和感がある ・ この事業に対する時間を区切った目標、将来シミュレーションが必要である 			
【班としての全体意見】		(5) 実施方法の変更	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ガーデンシティすその」の運営にどこまで市が関与していくのか、役員人選にどこまで関与していくのか、また、TMO運営補助について現時点では必要性がなく効果も発揮されていないので、法人の休止、解散を含む見直しと、他の商工会事業との統合を考えるべきである。 			

日/班名	1日目 B班	時間	15:40~16:30
事業番号	6-2	担当部署	商工観光課
事業名	TMO運営補助事業 中心市街地活性化事業		
事業費	平成23年度予算 1,197千円(内一般財源1,197千円)		
事業評価結果			評価人数
区 分	(1)廃止		
	(2)休止		
	(3)大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4)小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5)実施方法の変更		1
	(6)他の事業に統合		4
	(7)継続 現行どおり		
	(8)継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の補助もあるが、現状では進められないのではないか <p><統合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地だけでなく市全体を考える必要がある ・市のまちづくりの窓口を一本化すべきではないか ・継続するにしても、もっと議論をすべきではないか ・事業に対する補助は内容がはっきりしていない 			
【班としての全体意見】		(6)他の事業に統合	
<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化協議会は市全体を考える観点から必要性はある。ただし、改善の余地があるので見直しをしながら実施方法を変更していく必要がある。 ・すその一利用促進事業もバス車内に小学生の絵画を展示するなど、お金のかからない事業もあると思うが、実際、具体的な事業が見えてこない。 ・両方とも市の他の事業への統合を考慮すべきである。 			

日/班名	2日目 A班	時間	13:40~14:30
事業番号	7	担当部署	学校教育課
事業名	非常勤講師派遣事業		
事業費	平成23年度予算127,093千円(内一般財源127,093千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	4
	(5) 実施方法の変更		
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		1
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p>< 小幅な縮小 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業に対する工夫が足りない ・発達障害児への対応が対処療法となっていないか ・すべて市費で賄うべきなのか、本来は県費を使うべきではないのか ・学校側はさらなる工夫努力をするべきである ・入学時に発達障害児に対する他の対応ができないのか検討すべき ・先生が大変だからという理由で補助講師を入れているのではないのか ・発達障害児対応は教師でなくとも可能ではないか 			
【班としての全体意見】		(4) 小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育は人を育てることであり、将来を見据えた裾野市の人材育成のために、教育体制を充実させることは非常に大切なことだが、裾野市の財政状況等を考えると縮小は止むを得ない。 ・事業実施に当たっては、更なる工夫が必要である。 			

日/班名	2日目 A班	時間	14:40~15:30
事業番号	8-1	担当部署	教育総務課
事業名	小中学校給食 小学校給食管理事業		
事業費	平成23年度予算229,757千円(内一般財源127,344千円)		
事業評価結果			評価人数
区分	(1) 廃止		1
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	2
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	1
	(5) 実施方法の変更		1
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p>< 大幅な縮小 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自校式・センター方式についてはもっと工夫が必要であり、たとえば献立をすべて同じにすることはできないか <p>《以下給食費助成金制度について》</p> <p>< 廃止 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金を廃止の方向で検討し、その助成金を喫緊の課題である小・中学校のトイレの洋式化など教育環境の改善対策に振り向ける必要がある <p>< 大幅な縮小 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援としての給食費助成事業は、所得制限の導入では事務が煩雑になるのではないか 			
【班としての全体意見】 (3)大幅な縮小 但し、助成金は廃止			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食費を助成していることを一般市民は知らないと思われる。助成金は、要保護・準要保護世帯など、本当に困っている家庭に対する助成とすべきであり、全員に対して行う助成は廃止すべきである。 ・ 廃止した助成金を小・中学校のトイレの洋式化など学校の教育環境の改善に振り向けるべきである。 ・ 給食の調理方法は自校式・センター方式とも、うまく工夫して実施するよう、更なる努力をすべきである。 ・ 法律の縛りがあるとはいえ、民間への移管も考えていく必要がある。 			

日/班名	2日目 A班	時間	14:40~15:30
事業番号	8-2	担当部署	教育総務課
事業名	小中学校給食 中学校給食管理事業		
事業費	平成23年度予算243,701千円(内一般財源160,826千円)		
事業評価結果			評価人数
区分	(1) 廃止		1
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	2
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	1
	(5) 実施方法の変更		1
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p>< 大幅な縮小 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自校式・センター方式についてはもっと工夫が必要であり、たとえば献立をすべて同じにすることはできないか <p>《以下給食費助成金制度について》</p> <p>< 廃止 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金を廃止の方向で検討し、その助成金を喫緊の課題である小・中学校のトイレの洋式化など教育環境の改善対策に振り向ける必要がある <p>< 大幅な縮小 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援としての給食費助成事業は、所得制限の導入では事務が煩雑になるのではないか 			
【班としての全体意見】 (3)大幅な縮小 但し、助成金は廃止			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食費を助成していることを一般市民は知らないと思われる。助成金は、要保護・準要保護世帯など、本当に困っている家庭に対する助成とすべきであり、全員に対して行う助成は廃止すべきである。 ・ 廃止した助成金を小・中学校のトイレの洋式化など学校の教育環境の改善に振り向けるべきである。 ・ 給食の調理方法は自校式・センター方式とも、うまく工夫して実施するよう、更なる努力をすべきである。 ・ 法律の縛りがあるとはいえ、民間への移管も考えていく必要がある。 			

日 / 班名	2 日目 B 班	時間	13:40 ~ 14:30
事業番号	9 - 1	担当部署	社会福祉課
事業名	社会福祉協議会補助金及び委託事業 社会福祉協議会補助金事業		
事業費	平成 23 年度予算 22,032 千円 (内一般財源 22,032 千円)		
事業評価結果			評価人数
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	3
	(5) 実施方法の変更		2
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p>< 小幅な縮小 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助基準が明確でないので判断できないが、他市の補助状況と比較して助成額に極端な差がみられる ・ 社会福祉協議会から団体等への助成事業についても、市は内容をチェックしていくべきである ・ 社協会費、共同募金などでの収入確保について、確保努力が見られない ・ 介護保険事業では収益性が保たれているが、民間の介護サービス事業者との比較も考慮し、さらに努力が必要 ・ 補助金縮小がサービス低下になることが懸念される 			
【班としての全体意見】		(4) 方法変更を含む小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金の交付基準を見直し、補助対象、補助額等を明確にする。 ・ 人件費補助を行っている他の補助事業との整合を図り、見直しをする。 ・ 長期的には、社協以外の民間事業者ができることは、民間事業者が行う方向で検討すべき。 			

日 / 班名	2 日目 B 班	時間	13:40 ~ 14:30
事業番号	9 - 2	担当部署	地域振興課
事業名	社会福祉協議会補助金及び委託事業 ボランティア推進事業		
事業費	平成 23 年度予算 388 千円 (内一般財源 388 千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		
	(6) 他の事業に統合		5
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p>< 他の事業に統合 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアセンター運営事業と統合して実施すればいいのではないか ・ 社協への補助事業は、ある部分は拡大、ある部分は縮小するというメリハリと広域的な展開を考えて、統合していく仕組みが必要ではないか 			
【班としての全体意見】		(6)他の事業に統合	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア推進事業とボランティアセンター運営事業は統合すべき。 			

日/班名	2日目 B班	時間	13:40~14:30
事業番号	9-3	担当部署	地域振興課
事業名	社会福祉協議会補助金及び委託事業 ボランティアセンター運営事業		
事業費	平成23年度予算4,185千円(内一般財源4,185千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		
	(6) 他の事業に統合		5
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><他の事業に統合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会への補助、委託事業全体費用の中で実施すればいいのではないか。他市町では、ボランティアセンター運営事業を単独で委託しているケースが少ない ・ボランティア推進事業と統合して実施すべきではないか ・東日本大震災に対する支援体制づくりでの反省を踏まえて、ボランティアセンターにおいて、災害支援のための仕組みを考えていただきたい 			
【班としての全体意見】		(6)他の事業に統合	
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア推進事業とボランティアセンター運営事業は統合すべき。 			

日/班名	2日目 B班	時間	14:40~15:40
事業番号	10	担当部署	社会福祉課
事業名	シルバー人材センター運営費補助事業		
事業費	平成23年度予算14,732千円(内一般財源13,942千円)		
事業評価結果			評価人数
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	1
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	4
	(5) 実施方法の変更		
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p>< 小幅な縮小 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実質的に人件費補助であるが、7名の事務職員を補助対象とすることが妥当なものであるのか ・ 請け負う事業の事業費の5%を事務費として収入しているが、運営が厳しいのであれば、5%が妥当なものか検討すべき ・ 会員の拡大、受注増を図り、自立した経営に向かっていただきたい ・ どうしてシルバー人材センターに補助を開始することになったのか、経緯を確認したい <p>< 大幅な縮小 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公益社団法人に向かう中で、他の公益法人との比較で、現状の運営補助金が本当に必要なものであるのか 			
【班としての全体意見】		(4) 小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金算定基準が明確ではないので、適正な補助かどうか疑問である。 ・ 他市と比較して、人件費の割合が多いことは、検討の余地がある。 ・ 派遣法改正や定年延長などにより、受注量や会員数に影響が出ているが、事業拡大の努力をすべき。 			

2. 結果・総括

< 結果 >

民間の視点を取り入れ、2日間に渡り10事業(19事務事業)の評価を実施した結果(区分別)は下表のとおりです。

< 事業評価区分別結果一覧 >

判定区分	廃止	休止	見直し				継続 現行ど おり	継続 拡大
			大幅 な縮小 <small>(部分廃止含む)</small>	小幅 な縮小	実施 方法の 変更	他の 事業に 統合		
事務事業数	0	0	3	8	4	3	1	0

前頁までに詳細に掲載されているとおり、19事務事業の評価は「大幅な縮小」が3事業、「小幅な縮小」が8事業、「実施方法の変更」が4事業、「他の事業に統合」が3事業、「現行どおり」が1事業となりました。

19事務事業のうち見直しとなった事業は18事務事業におよび、見直し率は18/19で95%です。

< 総括 >

事業担当課による説明は、対象事業の公表から評価までの短い期間の中で、よく準備をされていましたが、事前に資料を提出されたとはいえ簡易であったり(補助金の評価では補助先の経営状況等資料が少なかった)判断するための時間が足りないと感じました。

また、職員から事業に対する強い熱意を感じられない場合があり、非常に残念に感じました。

今後、事務事業について、市民への公開度を高めるとともに、職員一人ひとりの意識改革を行い、市の事業は「市民のための事業である」といった根本目的を見誤らず、さりとして公平性の観点から、場合によっては事業の改廃も厭わない姿勢で自らが対処していただくことが必要です。

近年、事業仕分けは流行病のように自治体で実施されており、一躍有名になった「構想日本」のコーディネートによる仕分けを、近隣では、沼津市・三島市・熱海市・伊豆市、さらに県も実施しています。また、行革コンサルタントのコーディネートによる仕分けを御殿場市が実施しています。

逆に、富士宮市・小山町は実施をしていませんし、富士市は議会が事業仕分

けを行い、長泉町は庁内において非公開で実施しています。

事業仕分けは、公開の場で担当課が事業の説明をし、市民を含む仕分け人が事業の判定を行うことによって、事業の無駄を指摘するとともに、市民が行政に参与することによる市民と職員の意識改革を図ることも目的とされています。

本来、市の事業評価のあるべき姿は、その専門家や一般市民が判断するべきものではなく、行政自身（首長）が自己責任により行政経営の観点から改廃の判断をするべきであり、間接民主主義からすれば、市民の代表者である議会が判断すべき事項だと思います。

今回の事業評価も当委員会から報告書を提出し、国や他の自治体で実施している事業仕分けのように、最終判断は市長が行うこととなっています。

この事業評価結果が国のように「パフォーマンス」と言われぬよう、実現性を担保していただくとともに今後の事業評価手法の再考をお願いします。

今回市から示された事業についての事業評価は、行政改革推進委員会として責任を持ち、最後までしっかり評価できたと自負しております。

今回俎上に載らなかった事業について、まだまだ、見直しが必要な事業はあると思いますが、市では個別審査を行うことにより事業費を削減するとの方針を示しております。

また、今後5年間の財政シミュレーションである、中期財政計画が公表されたことは評価に値します。

この報告書が、次年度予算に反映され、財政悪化が市民生活に多大なる影響を与えないよう「財政の健全化」を確保するとともに、市民に対しても「あれも、これも」でなく「あれか、これか」といった「事業の選択と集中」の機運を高めることにより、一層簡素で効率的な行財政運営が図られていくことを期待します。

